

広島市植物公園

見どころ案内

ミシマサイコ (セリ科)

日当たりの良い山野に自生する多年草。小さな黄色い花を咲かせています。絶滅危惧種。

マツムラソウ (イワタバコ科)

石垣・西表島原産の多年草。水しぶきがかかるような環境を好みます。黄色い花を咲かせています。絶滅危惧種。

アリストロキア・ギガンテア

(ウマノズクサ科)
パナマ産。茶褐色の珍奇な花形がよく目立ちます。花の裏には緑色の袋があり、昆虫が入り込むと、なかなか出られなくなり受粉を促すしくみになっています。

ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、セロシヤ、ユーフォルビア、カラーリーフなどを使い秋バージョンに仕上げました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

植物友の会作品展

広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、クラフトなどを展示します。
[展示資料館1階展示室にて ~9月27日(日)まで]

カリガネソウ (シソ科)

日本各地に自生する多年草。虫が花に留まると、虫の背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。別名ホカケソウ。

フジバカマ (キク科)

日本、朝鮮、中国が原産。秋の七草のひとつです。運がよければ渡りをするチョウとして知られるアサギマダラの訪花が見られるかもしれません。

ミヤマガマズミ

(レンプクソウ科)
日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

ハギ園 (マメ科)

秋の七草の一つです。赤紫や白色などの花が咲いています。

変化朝顔展

縮んだ葉や帯状の茎、花びらの裂けた采咲きなど様々なアサガオを見ることができます。[展示温室にて ~9月27日(日)まで]

ガガブタ

(ミツガシワ科)
世界の温帯域にある湖沼などに広く生育する水草。水面上に細かく裂けた白い花弁をのぞかせています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)
品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

